

## 歴史探訪 Part II - ③①

江戸川木材工業株式会社

顧問 清水 太郎

3年前からはじめた大学聴講も順調に進んでいます。週4日の通学もすっかり生活のリズムとなりました。今回はその中から①考古学②有職故実③仏教史について報告します。

### ① 考古学

最近、百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されようとしています。主に仁徳天皇陵を中心とした遺跡ですが、昨年購入した東方年表によりますと、仁徳天皇は西暦313年即位、398年崩御により履中天皇の御代になりました。したがって、在位85年となり、これはかなり無理があります。元来、天皇陵は宮内庁の管轄になっており、これを機にもし、立ち入り調査が許されれば、多くの謎が解明される可能性があります。最近の授業で学んだことは、理化学的手法によって、遺跡、異物の年代測定に利用できるものがかなりあります。a・放射性炭素による測定年代 1946年シカゴ大学のウィラード・フランク・リビーが大気上層中の宇宙線の作用によって天然の放射性炭素の作られる機構を明らかにし、1945年には放射性炭素年代測定法を確立しました。b・熱ルミネッセンス測定年代測定 c・フィッシュントラック年代測定 d・カリウム・アルゴン法による測定年代 e・考古磁気による測定 f・黒曜石水和層年代測定法による測定年代 g・樹木の年輪による測定年代 これは寺社等に使われた樹木から伐採時の年代を正確に特定することが出来ます。放射性炭素による測定年代は土偶や須恵器の年代を測定し、石器時代か縄文土器時代かを特定するのに適しています。これに対し、樹木の年輪による測定年代は寺社等の建立の年代をかなり正確に特定することが出来ます。

### ② 有職故実

有職故実とは天皇を中心とした貴族たちの生活や習わし、社会規範などに対する知識を学ぶ学問であります。年号が2019年5月から、天皇が高齢のため退位され令和となりました。従来は天皇が崩御されて大きな悲しみの中で皇位継承がなされましたが、今回は日本中がお祝いムードの中で新天皇が即位されました。従来の年号は中国の故事から決められましたが、今回は日本古来の『万葉集』の中から令和という年号が菅官房長官より発表されました。中古時代の儀式では、天皇の衣装の色、被り物、貴族の並ぶ順序、衣装、殿上に上がる地位まで決められておりましたが、今回は皇位継承者である上皇ご夫妻、皇太子殿下ご夫妻のみが古式に則り三種の神器の受け渡しを執り行いました。参列される貴族の姿はなく、皇室のメンバーの他に、総理大臣が参列し祝辞を述べました。授業は清涼殿、紫宸殿から貴族の住居、生活に及び、暦、日記、文学へと進みます。貴族の一日で北斗七星の7つの星すべてに命名されていることも知りました。

### ③ 仏教史

日本仏教史では釈迦の生涯について学びました。釈迦は紀元前560～480年、仏教がインド～中国～朝

鮮半島を経て日本に伝来したのは552年、約千年かかっています。592年推古天皇が即位すると、用明天皇の次男厩戸の皇子(聖徳太子)が摂政となって推古天皇を支えました。物部氏と蘇我氏が仏教の布教について論争し武力衝突もありました。隋、唐に遣隋使、遣唐使を派遣し仏教等について学ばせます。国内体制を整備し、冠位十二階、十七条憲法を制定、仏教を奨励します。奈良時代になり聖武天皇は、741年の国分寺・国分尼寺建立と合わせて、743年紫香楽宮で、盧舎那大仏造立の詔を發布、墾田永年私財法制定。平安遷都794年最澄と空海が804年、遣唐使の随員として同時に入唐し、最澄は帰国して比叡山に延暦寺を建立、天台宗を布教し、空海は帰国して真言宗を布教しました。勉強はまだ続きますが、機会があったら、西洋美術史や哲学史についても報告します。



比叡山延暦寺

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>